

橋田賞新人脚本賞 最終選考作品

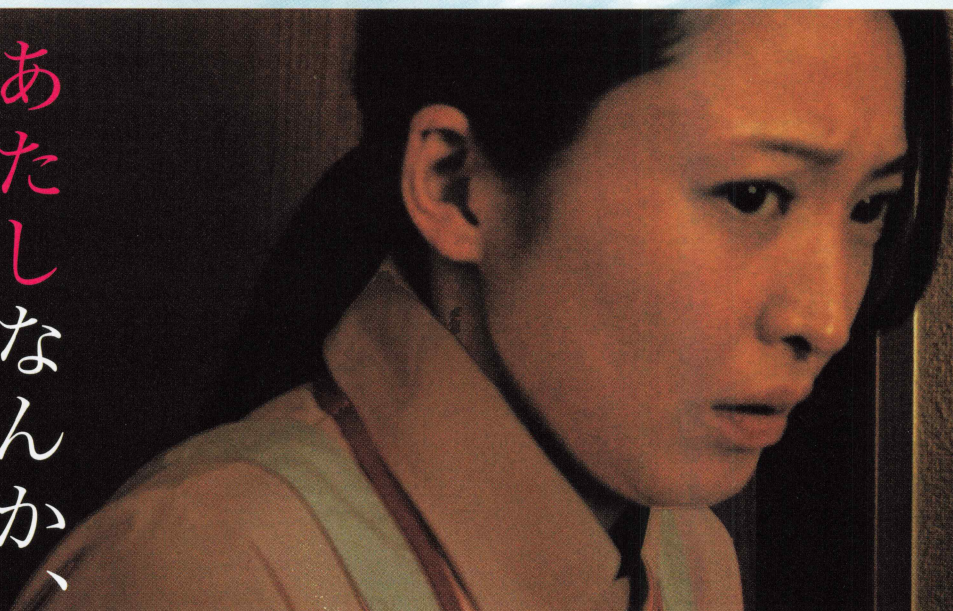
ひとつぼっち

主演

広山詞葉

美村多栄 池之上頼嗣 木下菜穂子 犬塚あさな
岡本志乃 新美啓之 安藤香都理
海老瀬はな 篠原真衣

あたしなんか、
産まなきや
良かったのに。



監督 / 副島新五 企画・原案・脚本 / 波流じゅん

音楽 / 小野川浩幸 プロデューサー / 前田和紀

撮影 / 宮崎裕也 照明 / 仲村逸平 録音 / 古屋ゆうき



日本セルビア映画祭入選

主題歌「Hello to Goodbye」 Cheri* 作中歌「光は刺す」造酒耕平

アシスタントプロデューサー / 佐藤美智子 助監督 / 奥野憲吾 撮影助手 / 佐藤聡志 吉矢響平 録音助手 / 鬼村悠希 坂口里空
衣装 / 竹本学 アシスタント / 平山千夏 ヘアメイク / 岩咲希しのぶ アシスタント / 西森由依 三谷可奈子 宣伝プロデューサー / 永尾康祐
協力 / 「ひとつぼっち」海南地域撮影応援隊 わかやまフィルム・コミッション 制作 / ACRAFT 配給協力 / SDP

配給・宣伝・製作 DARK HORSE

5.1ch

ひとつぼっち



日本セルビア映画祭 入選

今注目の俳優・広山詞葉をヒロインに！

橋田賞新人脚本賞最終選考作品が映画化。脚本家・波流じゅんが紡ぎ出す、生き苦しい「今」、明日を生きる光を見つける物語。

介護士の波子の前に、幼い頃自分を虐待して捨てた母親が認知症になって現れる。母は全てを忘れていた。波子は過去の記憶に苦しめられながらも母の介護をする。しかしある言葉が引き金となり、波子は母の首に手をかけてしまう。

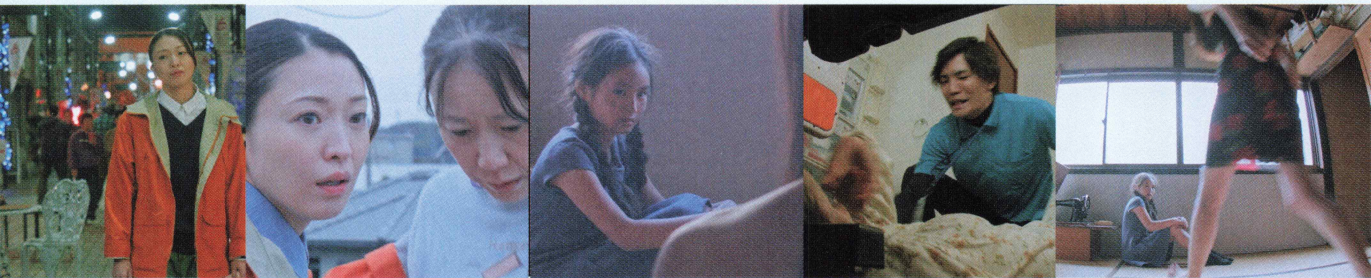
憎しみなのか愛なのか、葛藤する波子の選んだ結末は…？

強者であった親が弱者になった時、

子供は過去の記憶を忘れて親を受け入れられるのか。

過去の記憶を忘れられない娘と年老いて全てを忘れた母。

運命に導かれ切れたはずの糸が今再び絡み合う激しくも切ない物語。



傷つきながらも懸命に生きてきた大人たちに

誰かの人生に、そっと寄り添える作品にしたい、

そんな想いで「波子」を演じました。

目をつぶりたい・記憶から消したい過去でも、心揺らぎながらも必死に生きる波子の生き方を見届けてやってください。傷つきながらも懸命に生きてきた大人たちに観ていただきたい映画です。

主演・木村波子役 広山詞葉

誰かの心をほんの少しだけでも温かく

愛されなかった記憶は、影のようにずっと自分の人生につきまとい、どこか諦めたように生きていくしかなくて、それでも心の奥底では人一倍愛を求めてしまう。愛を求めるがゆえ間違えてしまう。この映画を観たあと、小さな一筋の希望の光が射し込み、誰かの心をほんの少しだけでも温かくしてくれたらと願っています。

脚本 波流じゅん



2022年1月8日(土)~1週間限定公開

新宿駅東南口階段下ル 甲州街道沿ドコモショップ左入ル

新宿 K's cinema

03(3352)2471 www.ks-cinema.com 各回入替・全席指定席

※Web割引実施、当日一般料金1,800円のところ一般1,400円で販売



甲州街道